



きょうの紙面

2 ギモンにこたえるモン 3 3分チャレンジ 4・5 いいね 小学校 6 英語 7 かほくワークシート

8 投稿特集



宮城県女川町で「スペインタイル」の絵付け体験ができるんだって。スペインに古くから伝わる明るくカラフルなタイルが、どうして女川で作られているのかな。かほピヨンは工房を訪ねたよ。

「色をなくした女川の街を美しいタイルで飾ろう」。阿部さんは技法を学び、12年に工房をスタート。材料は全部スペイン産で、海や船、灯台、獅子舞など懐かしい古里の風景を再現しました。タイルは評判となり、再開した店や施設のプレ

（58）は女川生まれ。陶芸が趣味でした。地元は2011年3月の東日本大震災で大きな被害を受け、阿部さんも家を失いました。沈んでいた時にスペインタイルと出会い、初めて見る明るい色使いに心を奪われました。

問い合わせ先

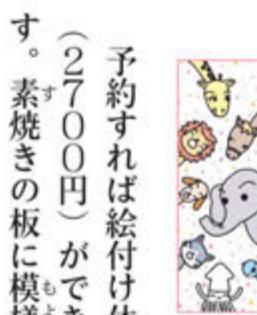
③ スペインタイル 女川

波や魚、花、太陽などが鮮やかに描かれたタイルがずらり。ここは漁業が盛んな港町・女川町にある「みなとまちセラミカ工房」です。



みなとまちセラミカ工房 0225(98)7866

（2700円）ができます。素焼きの板に模様を



◇24日（水） 五輪開幕1年前の式典（東京）
東京オリンピック開幕1年前を迎え、式典ではメダルのデザインがお披露目され、競技も体験できるよ。東日本大震災で被害にあった岩手、宮城、福島の3県と東京都の子どもたちが招待されるんだ。

描き、うわぐすりで色を付けると、2～3週間で焼いてコースターに仕上げてくれます。

2枚作って1枚は自分で1枚は街に寄付する「メモリアル体験」（3780円）もあります。自分で作ったタイルが未だで女川の街を彩るなんてすてきですね。

工房のある商業施設「シーパルビア女川」はJR女川駅からすぐ。海産物の店や飲食店も並び、家族で楽しめるよ。

心に街に明るい彩りを

今週の注目ニュース

◇27日（土） 隅田川花火大会（東京）

東京・下町の夏の風物詩だよ。2カ所から合わせて2万発の花火が打ち上げられるんだ。江戸時代に、餓饉で亡くなった人を慰霊する祭りとして始まったとされています。